

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

トーヨーエイテック株式会社東広島工場

(2) 事業所の所在地

東広島市高屋台2丁目2番4号

(3) 業種

2641 金属工作機械製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和6年(2024)年度から令和12年度(2030)年度までの6年間とする。

3 計画の基本的な方向

トーヨーエイテック 環境理念および環境方針

【環境理念】

「私たちは存在感のある企業として発展しつづけること」を目指した企業理念の下、全ての工作機、自動車部品、表面処理の企業活動において、自然との調和を図りながら、持続可能な豊かな社会づくりと、環境保全に貢献します。

【環境方針】

＜基本方針＞

自然・資源・エネルギーを大切にし、社会や地域と調和したクリーンな事業活動による脱炭素社会および資源循環社会を目指します。

＜行動指針＞

(a)環境法規制を遵守すると共に、事業活動による環境への影響を評価して環境保全レベルの継続的な改善に努めます。

(b)廃棄物の低減、エネルギー使用の抑制と脱炭素化を推進し、環境負荷の軽減に努めます。

(c)事業活動に関する一人ひとりの環境意識を高め、職場毎に自主管理による環境保全活動を推進すると共に、地域との共生を図ります。

(d)ライフサイクルを考慮した地球にやさしい技術と商品を創造し、脱炭素社会、資源循環型社会の実現に貢献し続けます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	3, 551	3, 222

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ H F C P F C S F ₆ N F ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	3, 551	50. 0	1, 777	1, 774
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	3, 551	50. 0	1, 777	1, 774
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年3%の削減率 電気は中国電力㈱の実排出係数を使用			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	—	—		0. 0	—	—	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	【2030年度】 CO2排出量：1,774(t-CO2) 2013年度比50%削減	【過去の取組】 ・休憩時間、直交代時の消灯の徹底 ・蛍光灯をLEDに交換（工場棟、事務所） ・待機電力の削減（電源OFF） ・設備エアーの使用量削減 ・コンプレッサーの運用見直し ・増圧機をエコタイプに更新他
2	電気使用量の削減	【2025年度】 CO2排出量：2,764(t-CO2) CO2削減量：458(t-CO2) 前年度比：14%削減	【今年度の取組】 ・コンプレッサーを省エネタイプに更新 ・ミストコレクターを省エネタイプに更新 ・蛍光灯をLEDに交換（検査室、食堂他） ・エアコン室外機に遮光ネットを設置 ・クーラントポンプの消費電力削減

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

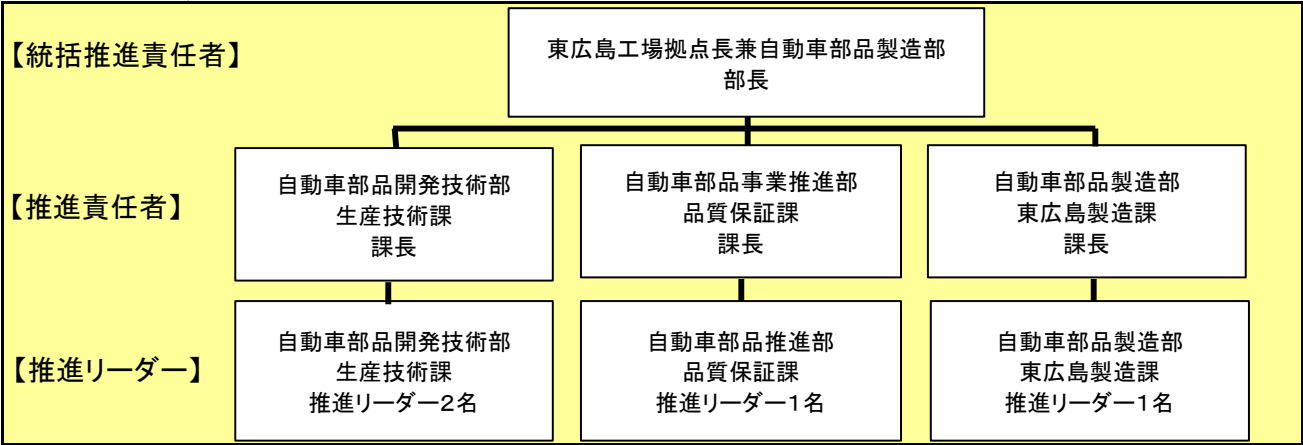
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃プラスチックの削減	前年度比2%削減	廃プラスチックの分別、リサイクル推進
2	廃油・廃液の削減	前年度比2%削減	・劣化しにくいクーラントの選定 ・クーラントの浄化・再利用
3	コピー用紙の削減	前年度比2%削減	・会議のモニター利用による紙資料の削減 ・文書類の電子データ化, クラウド化

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境事務局を中心として、毎年環境目標達成計画書兼中間報告書兼統括報告書(プログラム管理シート)を作成し、CO2排出目標、廃棄物削減目標、コピー用紙削減目標、水使用量削減目標を決定している。また、全部署・各職場でCN活動を推進しており、CO2削減ロードマップと活動計画書を作成し、隔月に開催される環境会議において活動の進捗、評価、見直し等を行い、目標の進捗・達成状況を報告している。

(3) 計画書等の公表

工場内の掲示板にて公表し、閲覧可能な状態としている。

【事業所位置図】

